



四雲まつり
マスコットキャラクター
「たけちゃん」

みくも

第39号



【2013. 3. 1発行】

「“ほっと” ギャラリー」3月展示作品のご案内

★「第4回碧川周辺地域の風景展」

3月7日(木)まで 8時30分～17時15分



「碧川周辺地域の自然」をテーマとして募集した写真などを展示しています。昨年の夏と秋に開催された写真撮影会などのようすから、碧川周辺の良さ、自然環境の美しさを再発見してください。

★「三雲地域に咲く“冬から早春”の野草と樹木の花」写真展

3月11日(月)～28日(木) 8時30分～17時15分

身近にみられる花の開花を通じて、季節の移りかわりを知っていただこうと、三雲地域で一般的にみられる野草と樹木の冬から早春に咲く花の写真を展示します。

※ 都合により、展示内容などを変更する場合があります。ご了承ください。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】



三雲地域コミュニティバス 「たけちゃんハートバス」の ポケット版時刻表ができました

昨年10月1日の運行開始以来、地域の皆様にご利用いただいている「たけちゃんハートバス」。このたび、お財布や定期券入れにもおさめやすい、ポケットサイズの「たけちゃんハートバス三雲線時刻表」ができ上がりました。



この時刻表は三雲振興局や管内各公民館、また「たけちゃんハートバス」車内にも備え付けてありますので、ぜひご活用ください。

「たけちゃんハートバス」は、今後も地域のバスとして愛され親しまれるバス運行を目指してまいります。たくさんの皆様のご利用をお待ちしております。

また、地域を走るコミュニティバスとして運行路線での円滑なバス運行への地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

持ち運びに便利な
ポケットサイズです



農業振興計画の見直しに伴い 除外手続きなどを一時休止しています

松阪市では、「農業振興地域」を指定し「農業振興地域整備計画」をたてて農業の健全な発展を目指しています。

この整備計画はおおむね5年ごとに基礎調査を行い、地域状況の変化に伴い見直すこととなっています。

松阪市では今後の農業振興を図るため、平成24～25年度にかけて、この「農業振興地域整備計画」の見直しを行っています。

このことに伴い、次の手続きがすでに平成25年1月分をもって、一時休止していますので、皆様にお知らせいたします。なお、手続きの受付再開は、平成26年7月からを予定しています。



【一時休止している手続き】

- 分家住宅建設などで農地以外の目的に使用する際の『農業振興地域の整備に関する法律』（以下、「農振法」という）に基づき農用区域（※）から除外する手続き。
- 農業用倉庫建設などの目的により、農地を農振法に基づき用途変更する手続き。

ただし、平成26年7月までに分家住宅建設などで農地以外の用途に転用する計画がある場合には、平成25年4月末まで受付を行っておりますので事前にご相談をお願いします。

（※）農用区域とは、集団的に存在する農地で、農業上の利用を確保すべき土地として指定されており、農地以外の用途に使用することを規制している区域です。

【問い合わせ 三雲振興局 地域整備課 電話56-7911】



かわづざくら 河津桜が咲き始めました！

笠松町を流れる農業水路沿いにある「笠松河津桜ロード（約1,000本）」には早咲き品種の河津桜約300本が植えられています。

今年は寒波の影響で開花が少し遅れているようですが、2月20日には多くのつぼみが膨らみ、少しずつ咲き始めていました。

予想では、今年の見ごろは3月中旬から下旬ごろとなりそうです。皆さんも「笠松河津桜ロード」に、ぜひお出かけください。



【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話 56-7905】

三雲リサイクルセンターのご利用について

三雲リサイクルセンターは三雲管内の家庭から出る「資源ごみ」を持ち込める施設ですが、例年3月・4月は利用者が多いので、混雑を避けるためにもあらかじめ「資源ごみ」を分別してお持ちください。ごみの分別方法は「ごみカレンダー」に掲載されていますので、ご確認のうえお出しください。



なお、ご来場の際にはセンター内を利用する車に十分お気をつけください。

また、一時的に大量にごみが出る場合や粗大ごみは三雲リサイクルセンターでは受け入れられませんので、下記施設までそれぞれ直接お持ちください。(許可証は不要です)

燃えるごみ

津市クリーンセンターおおたか【電話059-256-8122】

燃えないごみ

松阪市第一清掃工場【電話53-4470】

燃える粗大ごみ

松阪市第二清掃工場【電話36-0975】

【問い合わせ 三雲振興局 地域住民課 生活環境担当 電話56-7909】

アスレチックジムで体を動かしませんか？

ハートフルみくもスポーツ文化センター内には、アスレチックジムがあり、筋力トレーニングマシン、ランニングマシンやエアロバイク、また、女性に人気の乗馬フィットネスマシンなど、さまざまな機器をご利用いただくことができます。

ご家族、お友達などお誘い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

なお、利用料は年会員5,000円、月会員500円となっております。詳しくは下記までお問い合わせください。



【問い合わせ 三雲教育事務所 電話56-7916】

ハートフルみくもスポーツ文化センター 電話56-6611】



春の全国火災予防運動 3月1日～7日

消すまでは 出ない行かない 離れない



災害に強い地域づくりのために

東日本大震災のような広域的な災害が発生した場合、被災状況によっては市役所や警察が災害支援活動を開始するまでに時間を要することがあります。

このような災害において被害を最小限に抑えるためには、「^{じじょ}自助・^{きょうじょ}共助・^{こうじょ}公助」それぞれが災害対応力を高め、連携することが大切であるといわれています。

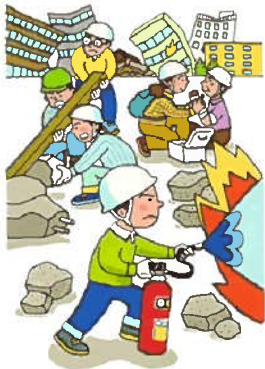


松阪市防災キャラクター
ジシュボウくん

自助・・・自ら（家族も含む）の命は自らが守ること、または備えること。
共助・・・近隣が互いに助け合って地域を守ること、または備えること。
公助・・・市役所をはじめ警察・消防・ライフラインを支える各社による応急・復旧対策活動。

じじょ
自助

きょうじょ
共助



こうじょ
公助



【自助・共助・公助の連携】

いつ、どこで起こるか分からない災害。災害による被害を防ぐためには、自分のことは自分で守る「自助」が防災の基本になります。いざという時に困らないよう、非常持ち出し品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、身のまわりの安全対策を行ってください。また、ふだんから家族みんなで避難場所や経路について話し合っておくことが大切です。

次に、自分の安全が確保された後に、周りのかたと助け合うこと「共助」が重要です。

これまでの災害においても、最も多くの人命を救ったのは地域の住民でした。初期消火や被災者の救出・救護などに大きな力となります。近所づきあいやお年寄りへの声かけなど、日ごろの心配りがいざという時に力を発揮します。

そして「公助」とともに状況を安定させ、復旧・復興へと向かいます。

「公助」が活動を始めても、その援助の手が円滑に私たち一人ひとりのもとに届くためには「共助」との連携が効果的です。

「自助」・「共助」・「公助」が互いに連携し、一体となることで、災害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながるものとなります。

※皆さんの地域で防災などのイベントが開催される際には、積極的な参加をお願いします。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】